

インバウンドに関する取り組み

インバウンド向けレールパスの販売

当社では、海外からのお客様（インバウンド）が気軽に鉄道の旅を楽しめるよう道内全線をご利用いただける「北海道レールパス」に加え、近年では、札幌圏を中心に特に人気の高いエリアに限定した「札幌・富良野エリアパス」や「札幌・登別エリアパス」を設定するなど年々多様化するインバウンド需要を見据えた取り組みを行ってきました。

そのほか、北海道内だけではなく、北海道と本州方面を相互に利用できる「JR East-South Hokkaido Rail Pass」や「JR Tohoku-South Hokkaido Rail Pass」を設定し、欧米豪を主なターゲットとして、東北・北海道新幹線沿線の観光地の魅力を発信することにより、首都圏から仙台、盛岡、八戸、青森、函館までの広域周遊ルートへの誘客を促進する「イーストジャパン・ゴールデンルート」の取り組みも行っています。

また、近年はインバウンド向けレールパスに加え、ご利用が増えている通常のきっぷやICカードに関する案内や宣伝展開の取り組みも強化しています。

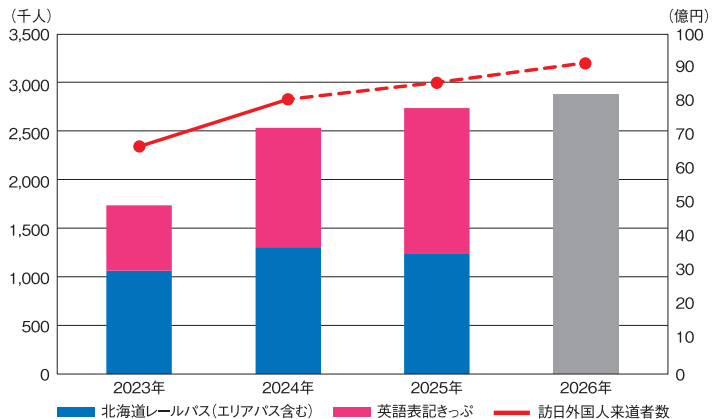


北海道レールパス

札幌・富良野エリアパス

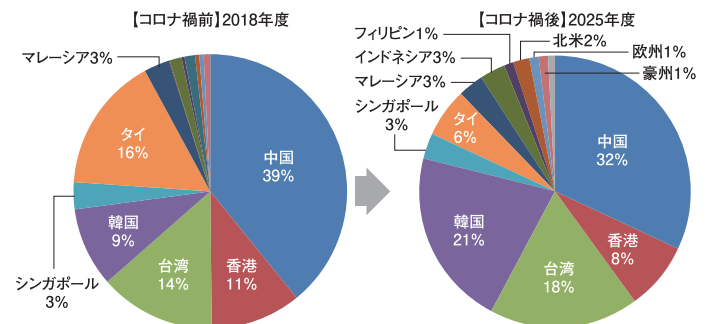
札幌・登別エリアパス

訪日外国人来道者数とインバウンド取扱実績



※訪日外国人来道者数:北海道経済部観光局資料より('25年度以降は未公表)
※販売枚数は、2019年度は1月以降の新型コロナウイルス感染症の影響により大幅減、2020、2021年度はほぼ皆無

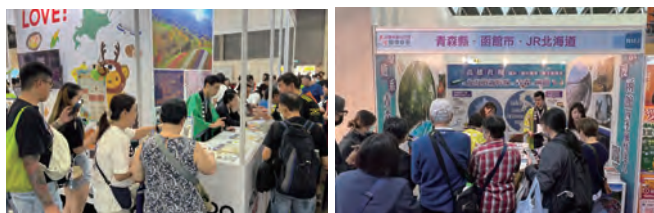
北海道レールパス国別割合(枚数)(2025年度はエリアパス含む)



2026年度の主な取り組み【プロモーション、情報発信】

市場ごとの特性を踏まえたプロモーションの実施

- OTA(オンライン販売専用旅行会社)と連携したデジタルプロモーションの実施
- 海外旅行博出展、海外インフルエンサー招請事業などリアルプロモーションの取り組み
- 今後の伸びしろが見込まれる東南アジア新興市場や欧米豪市場へのアプローチ
- 自治体や他事業者と幅広く連携した取り組み(共同プロモーション・招請事業など)



旅行博へ出展の様子:シンガポール・台湾高雄



イーストジャパン・ゴールデンルート

自社ホームページ・自社SNSを活用した情報発信

- グローバルサイト(英・簡・繁・韓国語)の情報充実
きっぷに関する各種案内、ICカードエリア情報、全車指定席列車の利用方法など
- 自社SNS※での「北海道の今、鉄道旅の魅力」を発信

※フォロワー数約37万人:フェイスブック(英・繁体字・タイ)・微博(簡体字)



グローバルサイト TOPページ



SNS(フェイスブック)投稿記事